

入院診療計画書(ラジオ波焼灼術(RFA)を受けられる方へ)

ID番号 @PATIENTID
病名(他に考える病名)

氏名 @PATIENTNAME
症状

様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

担当医師 @USERNAME

印 担当看護師

担当薬剤師

その他の担当者名

@SYSDATE

月日	@SYSDATE	月 日()		月 日()	月 日()	月 日()~ 月 日()	月 日()
経過	入院日	治療前	治療後	治療後1日	治療後2日	治療後3~4日目	治療後5日
目標	・病気を理解し、治療の必要性と注意点が理解できる。	・痛みや症状を伝えることができる。				・治療による合併症がなく、退院できる。	
検査	・血液検査があります。	・毎朝7時頃に体重を測って下さい。			・血液検査があります。		・血液検査があります。 ・月曜日にCTの検査があります。
治療	<h2 style="margin: 0;">ラジオ波焼灼術</h2> <p style="margin: 0;">無理のない方法で手術室へ移動します。 治療後、ベッドで帰室します。</p>						
処置	・医師がマジックで腹部に印を付けます。	・手術室へ行く前に、血栓予防のための靴下をはきます。 ・必要に応じて手術室で尿道カテーテルを挿入します。	・治療後に、痛みや出血がないか確認します。 ・穿刺部をバンドで圧迫します。 ・帰室後、フットポンプと心電図モニターを翌朝まで装着します。	・医師が診察し、バンドを外します。出血等なければ安静解除になります。 ・尿道カテーテルを抜去します。 ・歩行できるようになったら、弾性ストッキングは脱ぐことができます。			
観察	・入院後体温・脈拍・血圧を測定します。						
注射		・手術室または病棟で点滴をします。			・抗生剤の点滴があります。	・夜の抗生剤終了後、抜針します	・CT検査時は指定された部位に点滴をします。
内服	・薬剤師が内服中の薬を全て確認します。いつもどおり内服して下さい。	・指示された薬のみ、朝7時までに少量の水で内服して下さい。					
食事	・夜9時以降は 絶食 となります。水分(水・お茶)は摂ることが出来ます。	・ 絶食 です。 ・朝7時までは水分(水・お茶)は摂ることが出来ます。		・治療後は、 絶食水 です。	・いつもどおり内服して下さい。	・朝から食事が再開します。	・CT検査時は朝 絶食 となります。
行動	・制限はありません。 			・治療後は、翌朝までベッド上安静です。	・医師の許可が出たら、制限はありません。	・発熱がなければ、シャワー浴が出来ます。	
説明	・看護師が入院時の説明と翌日の治療の説明を行います。 ・手術室の看護師が説明を行います。	・医師、看護師が、治療後の注意点や過ごし方について説明を行います。					

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。
注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名：

続柄：